

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／牛山幸一
- 副会長／梅垣和彦・林広一郎
- 幹事／中嶋孝一
- R 情報(会報)委員長／濱 毅

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939  
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2785 回例会 2017 年（平成 29 年）2 月 21 日(火)

点	鐘：牛山幸一	司	会：上條英雄
斉	唱：それでこそロータリー	ラッキーNo	: NO.6 梅垣和彦
表	彰：米山功労者第 1 回 小口裕司		

### 会長挨拶

トランプ暴風のあと、本物の春の嵐が吹き荒れています。各地で被害も出ているようです。

そんな中、テレビにショッキングな映像が流されていました。マレーシアで、金正男氏が殺害された映像でした。実行犯はベトナムとインドネシアの女性 2 人でした。また北朝鮮の工作員の指示の元に行われたようです。そんな映像がある中で北の大使は、殺害された人は金正男ではなく、別人と言い張っています。日本でも多くの方が拉致され、まだ解決されていません。

最近、監視カメラの性能も非常に良くなっています。数年前までは、アナログでしたが、今はデジタルとなってきて、画像の鮮明度は格段にアップしました。当然、遠方の画像もリアルタイムで見る事もできます。支店または店舗の多い企業においては、各店を本社で管理している会社もあります。映像の保存も、前はタイムラプスビデオで、テープで保管でしたが、今はほとんどハードディスクへ保管されています。

今回の事件がどのように幕引きされるかわかりませんが、そんな国が、すぐ近くにあると言う事を、残念ながら私たちは常に頭の中に入れておかねばならないと言う事です。

### 会長報告

- 地区より青少年交換留学生の送り出しのスポンサークラブの依頼があり、理事会で要請を受諾すると承認されましたのでご報告します。

## 幹事報告

- 次週 2/28 の例会はありません。次回は 3/7 の総会となりますので、よろしくお願ひします。次年度の委員会構成の発表となります。
- 26 日は諏訪グループの IM となっております。13:00 点鐘。場所はマリオです。(ホスト=諏訪湖 RC)



### 卓話「最近気になった税制について」

瀬戸雅三会員

いよいよ確定申告が始まりました。会計事務所にとっていわゆる「書き入れ時」です。忙しいのは当然ですが、この時期は短期間に大勢の方と話をする時でもあります。中にはこの時期しか合わない方もいて、お互いの近況報告をしていると時間がいくらあっても足りません。毎年 2 月上旬は、(大きな声では言えませんが、) 忘れかけている「所得税法」を思い出しながら、また新しい知識を入れながら徐々に「確定申告モード」に切り替えていく日々です

そのような状況のなか、私が最近気になった税制について話をさせていただきます。

#### 1. ふるさと納税

まずは、「ふるさと納税」です。総務省では、下記の「理念」を掲げております

#### ふるさと納税で **日本を元気に!**

地方で生まれ育ち都会に出てきた方には、誰でもふるさとへ恩返ししたい想いがあるのではないのでしょうか。育ててくれた、支えてくれた、一人前にしてくれた、ふるさとへ。

都会で暮らすようになり、仕事に就き、納税し始めると、住んでいる自治体に納税することになります。

税制を通じてふるさとへ貢献する仕組みができないか。そのような想いのもと、「ふるさと納税」は導入されました。

ふるさと納税には三つの大きな意義があります。

- **第一に、納税者が寄附先を選択する制度**であり、選択するからこそ、**その使われ方を考えるきっかけとなる制度**であること。  
それは、税に対する意識が高まり、納税の大切さを自分ごととしてとらえる貴重な機会になります。
- **第二に、生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域に、これから応援したい地域へも力になれる制度**であること。  
それは、人を育て、自然を守る、地方の環境を育む支援になります。
- **第三に、自治体が国民に取組をアピール**することでふるさと納税を呼びかけ、自治体間の競争が進むこと。  
それは、選んでもらうに相応しい、**地域のあり方をあらためて考えるきっかけ**へとつながります。

さらに、納税者と自治体が、お互いの成長を高める新しい関係を築いていくこと。自治体は納税者の「志」に応えられる施策の向上を。一方で、納税者は地方行政への関心と参加意識を高める。いわば、自治体と納税者の両者が共に高め合う関係です。

一人ひとりの貢献が地方を変え、そしてより良い未来をつくる。

全国の様々な地域に活力が生まれることを期待しています

～総務省ホームページ「ふるさと納税の理念」より抜粋～

上記の「理念」とは裏腹に、最近では豪華な特産品をエサ（！？）に「寄付金」を集めることに注目が集まっている。納税者もその「ふるさと」を応援すると言うよりは、「おいしいお肉」をゲットする・・ために縁もゆかりもない市町村へ寄付をする。その結果、自分の家族が暮らしている自治体の税収が減っていき行政サービスの質が低下するかもしれない。

と、ここまで原稿を進めていると事務所の職員が、「最近ミカンに、はまっていて、ふるさと納税で和歌山県に寄付しました」と嬉しそうに話してくれました。今井市長、すみませんでした。

## 2. セルフメディケーション税制

次に、まさに今始まったばかりの「セルフメディケーション税制（医療費控除の特例）」です。これは、健康の維持増進及び疾病の予防への取組として一定の取組を行う個人が、平成29年1月1日以降に、スイッチOTC医薬品（要指導医薬品及び一般用医薬品のうち、医療用から転用された医薬品）を購入した際に、その購入費用について所得控除を受けることができるものです。

この税制の興味深いのは、「健康維持増進及び疾病の予防への取り組み」として健康診断等を受けていることを要件としていることです。

医療費の削減は、日本の財政にとって大きな課題です。今後は、日頃から健康に気を配って「医療費」を使わない方にもメリットがある税制も必要かもしれません。

これから具体的な処理が明らかになっていくと思われますが、とりあえずは、「領収書」を保管しておきましょう。

---

## ニコニコボックス

瀬戸雅三 本日 卓話をさせていただきます。気楽にお聞きいただければ幸いです。  
今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・大橋正明・小口 隆・小口泰史・小口裕司・上條英雄・北澤洋之介・佐伯克己・薩摩 健・高木昭好・中嶋孝一・中村文明・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・宮坂晃介・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山崎典夫 本日は瀬戸雅三会員の卓話です。どうぞよろしくお願ひします。

## 出席報告

会員数41名、出席者29名、出席率74.36%、前々回訂正73.17%